

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月9日

上場会社名 株式会社 中広
 コード番号 2139 URL <http://www.chuco.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 後藤 一俊
 (氏名) 松田 隆

上場取引所 名
 TEL 058-247-2511

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,457	—	68	—	68	—	34	—
25年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 35百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 1百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	5.37	5.27
25年3月期第1四半期	—	—

(注) 当第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値及びこれに係る対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	2,555	780	30.5
25年3月期	—	—	—

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 780百万円 25年3月期 1百万円

(注) 当第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、前期の数値については記載しておりません。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,700	—	110	—	100	—	60	—	9.27
通期	5,700	—	330	—	310	—	200	—	30.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	6,718,000 株	25年3月期	6,718,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	243,864 株	25年3月期	243,786 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	6,474,193 株	25年3月期1Q	6,463,135 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日～平成25年6月30日)におけるわが国経済は、昨年末の政権交代後から継続してきた円安・株高基調から調整局面となり、先行き不透明な状況となりました。

このような状況下、当社グループは、主力事業であるフリーマガジンにおきまして、6月28日、三重県東紀州に『地域みっちゃく生活情報誌® からっとclub』(22,000部発行)を創刊し、既存誌におきましても配布エリアの拡大に努めてまいりました。

これらの結果、広告の受注は順調に伸び、当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は1,457,159千円、売上総利益は603,451千円となりました。利益面では、営業利益は68,893千円、経常利益は68,016千円、四半期純利益は34,791千円となりました。

a. メディア事業

メディア事業では、フリーマガジン創刊(三重県東紀州)に向けての準備や、既存誌の配布エリアの拡大に努めました。また、フリーマガジンの全国展開としてVC(※)契約を推進し、当第1四半期連結累計期間において1社と契約を締結し、合計8社となりました。

これらの結果、メディア事業の売上高は802,178千円となりました。

なお、平成25年6月末現在、当社が発行するフリーマガジンは41誌、発行部数249万部となり、VC契約による発行も合わせますと49誌、総発行部数300万部となりました。

また、当社が運営いたします地域みっちゃく生活情報総合ポータルサイト『フリモ』(furimo.jp)の会員数は84,935名、掲載店舗数は16,010件となっております。

※VCとは、複数の仲間が独立性を保ちながら志を共に共同で企画・営業・運営をする組織。

地域社会に貢献するというボランティア精神(Volunteer Spirit)と事業成熟(Win Victory)を目指します。

b. 広告SP事業

広告SP事業では、当第1四半期連結累計期間に滋賀県における広告SP事業の拡大を図るため、滋賀支局を開設いたしました。

また、消費税増税前の駆け込み需要の影響から、不動産関連や自動車ディーラー等の広告出稿が増加し、順調に受注を伸ばしました。

これらの結果、広告SP事業の売上高は654,981千円となりました。

(注)平成26年3月期第1四半期連結会計期間より連結財務諸表を作成しているため、業績数値の前年同四半期との比較は行っておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第1四半期連結会計期間末における総資産残高は2,555,335千円、負債の残高は1,775,041千円、純資産の残高は780,293千円となり、自己資本比率は30.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間及び通期の事業環境につきましては、平成25年5月2日発表の「平成26年3月期の連結業績予想」に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期累計期間より、当社が発行済全株式を取得した株式会社エルアドを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金		531,785
受取手形及び売掛金		689,751
商品		4,449
仕掛品		17,147
貯蔵品		756
前渡金		27,247
繰延税金資産		12,644
その他		24,003
貸倒引当金		△10,979
流動資産合計		1,296,806
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)		264,461
土地		695,840
その他(純額)		64,653
有形固定資産合計		1,024,955
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券		56,732
破産更生債権等		112,615
差入保証金		151,555
その他		21,119
貸倒引当金		△146,340
投資その他の資産合計		195,682
固定資産合計		1,258,528
資産合計		2,555,335

(単位:千円)

当第1四半期連結会計期間
(平成25年6月30日)

負債の部	
流動負債	
買掛金	551,826
短期借入金	372,000
1年内返済予定の長期借入金	108,387
未払金	43,711
未払費用	76,555
未払法人税等	24,656
預り金	39,759
賞与引当金	84,344
その他	78,335
流動負債合計	1,379,577
固定負債	
長期借入金	321,654
リース債務	60,894
その他	12,915
固定負債合計	395,463
負債合計	1,775,041
純資産の部	
株主資本	
資本金	379,850
資本剰余金	70,350
利益剰余金	340,742
自己株式	△15,753
株主資本合計	775,188
その他の包括利益累計額	
その他有価証券評価差額金	5,105
その他の包括利益累計額合計	5,105
純資産合計	780,293
負債純資産合計	2,555,335

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,457,159
売上原価	853,708
売上総利益	603,451
販売費及び一般管理費	534,558
営業利益	68,893
営業外収益	
受取利息	121
受取配当金	461
受取賃貸料	3,034
その他	1,292
営業外収益合計	4,910
営業外費用	
支払利息	2,170
支払手数料	1,627
その他	1,988
営業外費用合計	5,787
経常利益	68,016
特別利益	
固定資産売却益	89
段階取得に係る差益	1,950
負ののれん発生益	1,045
特別利益合計	3,084
特別損失	
固定資産除却損	7,005
特別損失合計	7,005
税金等調整前四半期純利益	64,095
法人税、住民税及び事業税	17,535
法人税等調整額	11,768
法人税等合計	29,303
少数株主損益調整前四半期純利益	34,791
四半期純利益	34,791

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位:千円)

		当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益		34,791
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金		508
その他の包括利益合計		508
四半期包括利益		35,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益		35,300
少数株主に係る四半期包括利益		—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

1 報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	メディア事業	広告S P事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	802,178	654,981	1,457,159	—	1,457,159
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	802,178	654,981	1,457,159	—	1,457,159
セグメント利益	105,073	80,161	185,234	△116,341	68,893

(注) 1. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに帰属しない全社費用であります。全社費用は、主に総務及び経理等の管理部門及びクリエイティブ部門にかかる一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれんの発生益)

重要な負ののれん発生益として、株式会社エルアドの発行済株式の全てを取得し、同社を連結子会社としたことによる1,045千円を計上しております。

なお当該負ののれん発生益は、各報告セグメントに配分していない全社の特別利益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、連結財務諸表を作成しております。前第1四半期連結累計期間についての情報は記載しておりません。